

平成 28 年度 九州ブロック事業報告

1. 活動テーマ

地域における保健師の保健活動に関する指針」を活用した保健師活動の可視化と質の向上に向けた取り組み

2. 目的

地域に責任を持った活動の強化や統括的な役割を担う保健師の配置の必要性や役割について災害支援活動を通して考え、保健師間で情報を共有し保健師活動の充実を図る。

3. 実施状況

回	開催日	場 所	内 容
1	4月～7月	各支部	【情報交換】 メール等による情報伝達や打ち合わせ
2	8月20日(土) 10:00～15:40	鹿児島県市町村自治会館	【九州ブロック研修会】 1 全国保健師長会活動報告 報告者：全国保健師長会副会長 山野井尚美 氏 2 研究報告 「地域包括ケアシステム構築における保健所・市町村保健師の保健活動に関する研究」 報告者：吉田知可 氏 (大分県) 3 講演 I 「これからの災害支援活動～保健師に期待すること～」 講師：全国保健所長会会長 宇田英典 氏 4 活動報告 熊本地震災害支援での保健師活動 報告者：下村登貴子 氏 (熊本県阿蘇保健所) 報告者：清田千種 氏 (熊本市西区役所) 5 講演 II 「災害支援活動での統括的保健師の役割」 講師：国立保健医療科学院生涯健康研究部 上席主任研究員 松本珠実 氏 6 演習・グループワーク 「災害時に保健師としてどう動くか」 進行：松本珠実 氏 助言：宇田英典 氏 山野井尚美 氏
3	8月20日(土) 15:45～16:45	鹿児島県市町村自治会館	【九州ブロック理事・支部長会議】 1 各支部活動報告 2 支部活動や会員加入推進等について情報交換

4. 結果・課題

ブロック研修会は、116名（県外43名・県内76名）の参加があった。講演では、大規模災害時における受援・支援体制や、災害時の初動支援活動での組織体制構築方法や指揮命令系統の重要性、災害時に統括的保健師が担う役割や避難所での保健師の活動等について学ぶことができた。活動報告では、平成28年4月に発生した熊本地震での支援活動の貴重な体験や取り組み等について報告を聞くことができた。演習では、具体的に自分達の行動や役割を確認する場となり活発に意見を出し合うことができていた。

今回の研修を通して、平時から地域に責任を持った保健活動を行っていくことが、大規模災害時健康危機管理等にも重要で、効果的保健活動につながることを再認識する機会になったと感じた。

理事会・支部長会は、年1回顔を合わせて情報交換できる貴重な機会であるため、支部の運営や役員選出、会員確保等について活発に意見を出し合うことができた。

5. 支部活動の特徴

各支部が地理的に離れているため、通常はメールや電話で情報交換や理事会復命等の情報伝達を行っている。定期的な会議等が開催できないためブロック研修会参加時に時間確保している。研修会や会議の日程を早めに決定することで、理事や支部長が会議に全員出席できるよう工夫している。

6. 委員・支部長

○理事	堀之内 広子	鹿児島県鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）
理事	國吉 香代子	沖縄県南部保健所
福岡県	田代 裕子	福岡県宗像・遠賀保健福祉環境事務所
福岡市	結城 典子	福岡市博多区保健福祉センター
北九州市	清田 啓子	北九州市保健福祉局
佐賀県	城 浩子	佐賀県唐津市役所
長崎県	稗圃 砂千子	長崎県福祉保健部福祉保健課
熊本県	森田 紀代子	熊本県八代市役所
大分県	藤本 紀代美	大分県保健福祉部健康対策課
宮崎県	又木 真由美	宮崎県日南保健所
鹿児島県	今村 恵	鹿児島県始良・伊佐地域振興局保健福祉環境部（始良保健所）
沖縄県	玉城 浩江	沖縄県北部福祉保健所